

特集

人生を豊かに



私たちの「白鷺教育会」が発足したのは、平成12年の「白鷺会」100周年を期に始まりました。記念誌の巻頭言に、当時の「白鷺会」会長宗行源治先生が次のように述べられています。「然るところ、近時の社会の変化は激しく、学校教育にも社会教育にも課題が累積し、また、深刻な問題が多発してその対応が強く求められています。本会としてはこの事態に対応して体制を刷新し、今の名称を「白鷺教育会」に改め、名実共に教育文化団体として世の要求に応えることにしました。」

これを期に、機関紙の名称も従来の「馳懐」から「白鷺教育」に改称されました。

年2回発行している機関紙には、会員各位から「白鷺教育会」の主旨に沿うような原稿を寄稿していただいています。そのテーマとして平成27年度から「人生を豊かに」を設定しています。以来、会員各位が教育現場や教育行政でご活躍されたり、教育現場を退かれ新たな人生を過ごされたりなど、まさに教育者として自分の人生を豊かに過ごしておられる体験の一端をご紹介していただきました。

有名な日野原重明先生は「人生とは、その人に与えられた時間である」と言っておられます。会員各位が充実した時間を過ごされている様子を紹介しあって、会員各位がますます満ち足りた毎日を過ごされることを願っています。また、各支部内での情報交換、支部を越えて県内各地の教育情報、そして、年齢を乗り越えた教育指導体験談など、白鷺教育会の会員であることの特典を存分に活用して頂きたいと思います。

編集発行人  
高岡保宏

白鷺教育会事務所  
姫路市飾磨区  
清水2丁目128  
(姫路市教育会館内)  
☎(079)233-0892



心のリフレッシュ

私は最近、テレビの映画番組を録

画し、暇な時に見るのを楽しみにしている。殆どがNHKBS3の番組で洋画が多い。若い時に一度見たもの、新しいものも関係なく撮りだめをしているので、かなりの量が溜まっている。

近頃は一本見るのに数時間かかるといっても三十分も見ないうちに眠ってしまうからである。はっと目覚めて見直す。これを何回も繰り返す。録画はこれが出るから有り難い。今回見たのは九十分余りのイギリス映画「アンコール」(原題名は「Song for Marion」)最後まで眠らずに見てしまった。少し内容に触れると二〇一二のイギリス映画、監督はポール・アン・ドリュウ・ウィリアムズ、テレビ・スタンプ演じるアーサー、バネッサ・レッドグレイヴの演じるマリオン、の老夫婦とその家族、マリオンの参加している合唱団(年金受給者の仲間たちを描く物語。テレビ・スタンプとバネッサ・レッドグレイヴの名優の演技が実によい。特にアーサーが周囲に対して心を開

いてゆくテレビ・スタンプの演技にウルウルさせられた。見終わって本当に心が洗われた。

もう一つ私は、密かな楽しみを持っている。それはやはりNHKBS3の日曜の夜九時から始まる韓国の時代劇である。ここ数年ずーと見ている。国王が絡む時代劇で脚色が実によい。

始まりは「宮廷女官チャングムの誓い」(二〇〇四年)を妻が熱心に見ていた。それを一緒にちょっとだけ見てしまった。それがそもそも運の尽きということではまってしまった。続いて「イ・サン」(二〇〇九年)、「トンイ」(二〇一一年)、「太陽を抱く月」(二〇一三年)、「馬医」(二〇一三年)、「奇皇后」(二つの愛涙の誓い) (二〇一四年)、「オクニョ」(命の人(ひと)) (二〇一七年)、「秘密の扉」(二〇一八年)を見て今は「不滅の恋人」(二〇一九年)を妻と一緒に楽しんでいる。

昔、日曜洋画劇場を見ていた時、解説者の淀川長治氏が最後に言っていた言葉「映画は本当に良いものですね」を実感している今日この頃である。

会長 高岡保宏 (S37)